



発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集：全難聴事務局
電話：03(3225)5600
FAX：03(3354)0046
URL：<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennacho@zennancho.or.jp

選挙法改正「ネット選挙」解禁に向けて視聴覚障害のアピール(7月9日)

4月19日にネットの普及に対処すべく、選挙運動解禁の法改正が行なわれました。改正後最初の国政選挙である参議院選挙に向けて、視聴覚障害四団体はアピール文を発表しました。

7月16日には、四団体代表が総務省並びに記者クラブにてアピール文を提出、配布いたしました。

今般、公職選挙法が改正され、本年7月21日投票の「第23回参議院議員通常選挙」から、いわゆる「ネット選挙」が解禁となりました。

これまで法律によって制限されていた、ウェブサイト、ソーシャルメディア、電子メールなどでの選挙活動が、公示日後も行えるようになり、候補者から有権者に対し、ネットを通して直接自分たちの政策を訴えることができるようになりました。それにより、有権者はこれまでより多くの情報を得ることが可能になると思われがちですが、私たち、視覚や聴覚に障害がある有権者には、それらを十分に享受できるわけではありません。

例えば、候補者がそれぞれのホームページで自らの政策を動画で訴えても、その動画に手話通訳や字幕が挿入されていなければ、聴覚に障害がある者はその情報を得ることはできませんし、視覚に障害がある者は情景などを音声で解説を付けてもらわない限り、十分に情報を把握できません。政見放送には手話通訳や字幕を付けることが認められていますが、それはあくまでも「政党の申し出」に委ねられており、政見放送のすべてに手話や字幕をつけることが義務とされているわけではありません。

候補者が自分の政策をウェブサイトにアップしても、視覚障害者の使用する「読み上げソフト」で読める形のものでなければ、何がそこに書かれているかを知ることはできません。また「選挙公報」については、公職選挙法に点字版・録音版の選挙公報の規定がないために、視覚障害者選挙情報支援プロジェクトの全文点字・音訳版を依頼する選挙管理委員会と、地元のボランティア団体に製作を依頼するところなど、地域間格差が生じています。

視覚や聴覚の両方に障害のある盲ろう者の多くは、パソコンから情報を得ることができない環境におかれています。特に、文字・点字・音声による情報取得が困難な盲ろう者は、そのコミュニケーション方法とニーズに応じた通訳・介助員による支援がないと選挙公報やウェブサイトの内容を知ることができません。

私たちは、視覚や聴覚に障害を有するため、情報へのアクセスに困難が生じます。それを解決するため、手話通訳や字幕、点字や読み上げソフトによる「情報保障」が必要ですが、このことを発信者側も意識して対応しなければ、私たちは情報を的確に受け取ることができません。

情報は、発信者側の環境整備だけでなく、受け手側の状況に合わせたものでなければ、伝わらないものなのです。

今回の改正で、これまでより多くの情報を文字や音声で得ることが可能となりましたが、障害がある有権者への情報発信はより一層強化すべきです。そのための情報保障への取り組みをなお一層強化して欲しいと願っています。

2013年7月9日

社会福祉法人 日本盲人会連合

一般財団法人 全日本ろうあ連盟

一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

社会福祉法人 全国盲ろう者協会

青年部創立30周年記念パーティー 報告（6月15日）

6月15日午後に、兵庫県神戸市で定期総会を行いました。

25年度の青年部役員体制は、以下の通りです。

部長 吉野弘規（茨城県）
事務局長 杉村美幸（山口県）
会計 藤原稔之（島根県）
委員 武田浩一（宮城県）



また、以下の25年度活動方針案が承認されました。

- (1) 評議員制度を含む、青年部規約の見直しの検討
- (2) ブロック内の、青年部同士の交流の活性化及び、難聴青年の掘り起こしのための事業。
- (3) 青年部サイトを利用した、各地域青年部等の企画のPR。
- (4) 青年部部員数及び役員数、役員歴等の実態調査及び公表。
- (5) 全難聴福祉大会の要員協力。

総会終了後は、神戸市内のレストランで、創立30周年記念パーティーを行いました。

参加者の数は、OBOGや現役の各地域青年部役員を含めて計46名。高岡正理事長のご挨拶を始めに、初代青年部長の本城清次様の、乾杯のご発声、歓談、青年部活動の映像&スライドショー、OBOGへのインタビュー、集合写真と、パーティーは終始、和やかな雰囲気で行われました。



パーティーにご参加くださった皆さま、そして、身に余る温かいご祝辞や励ましのお言葉をいただいた皆さまに、この場をお借りして、お礼を申し上げます。

（青年部部长 吉野弘規）

最新音声認識アプリ紹介

人の声を文字に変換したり、逆に文字を音声化し、加えて手書きでの編集も行ったりすることができるという、スマートフォン、ノートパッド向けの音声認識アプリが提供されています。



その中で、全難聴あてに案内もしくは事務局で取材したものをご紹介します。これらアプリのダウンロードは無料です。その後、機能によって費用が発生するものもあります。



こえとら

情報通信分野を専門に研究する公的研究機関である「情報通信研究機構(NICT)」が開発し、無料提供されている音声認識アプリです。

音声入力、文字の音声化、定型文が活用できるといった豊富な機能にもかかわらず、無償で提供されています。九州のろう学校で実証実験を重ねたことから、健聴者とのコミュニケーションには文字情報がやはり必要だという方向性が見えたとのこと。



無料とは
太っ腹!

音声認識はサーバーから行いますので、ネット接続が必要です。また変換された言語はサーバーにデータ蓄積され、変換効率向上に寄与するとのこと。複数の iPhone 同士での通信も可能です。

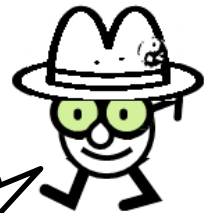


UD 手書き

アドバンスメディア、プラスヴォイス、シャムロック三社が開発したアプリです。単体で手書きのやり取りを行います。音声の文字化も行うことができます。(初期費用600円)

画面に表示された文字に手書きでの追記や修正が可能です。その会話をメール送信することもできます。

使っております。



OFFTALK

シャムロックが昨年発表した、複数の iPhone で文字による会話(チャット)をするアプリです。音声文字化機能は、UD 手書きと同様です。

ソフトバンクはこのアプリをもとにして利用者のニーズを捉えるための説明会を横浜市協会にて行いました。

川井副理事長の音頭で、ソフトバンク担当者の想定を上回る多数の参加者が集まりました。

川井さん! 余裕!



アプリ名	開発・発売元	対応機種	音声の文字化	単体使用	特徴
こえとら	情報通信研究機構	iPhone、iPad	要ネット接続	○	会話の定型文あり
UD手書き	Shamrock Records	iPhone、iPad	要ネット接続	○	単体で使用
OffTalk	Shamrock Records	iPhone、iPad	要ネット接続	×	近くの端末との接続が前提

※上記アプリはいずれも Wi-Fi 接続をした iPod Touch (第4世代) での使用も可でした。

📌 理事の動き（7/1～7/31）

- 7月5日 全難聴事務局会議（高岡、佐野）
- 7月16日 視聴覚4団体総務省要望（高岡）
- 7月16日 JDF 第三種打ち合わせ（新谷）
- 7月17日 JDF 差別禁止法小委員会（新谷）
- 7月18日 音声認識アプリ説明会（川井）
- 7月19日～21日 情文センター要約筆者指導者養成研修・西日本会場第1クール（高岡、荒川）
- 7月19日 MASC 総会（小川）
- 7月22日 第6回障害者政策委員会（新谷）
- 7月24日 JDF 幹事会（新谷）
- 7月25日 事務所執務（高岡）
- 7月26日～28日 情文センター要約筆者指導者養成研修・東日本会場第2クール（藤谷）
- 7月31日 全難聴便り No. 62 発行

📌 事務局報告

- 7月3日 視聴覚関連4団体勉強会
- 7月5日 全難聴事務局会議（午後）
- 7月18日 音声認識アプリ説明会
- 7月19日 首都圏新都市鉄道（株）訪問

《予定》

- 8月14日～16日 全難聴事務所夏季休暇
- 8月21日 全要研との定期協議会
- 8月24日 聴覚障害者制度改革推進中央本部学習会「意思疎通支援事業」説明会（全通研夏の集会・岐阜にて）
- 8月23日 第22回全国盲ろう者大会（千葉）
- 8月30日 全難聴便り No. 63 発行

事務局連絡

全難聴事務局は8月14、15、16日を夏季休暇とさせていただきます。

機関誌発行のための通巻番号取得などのご要望はお早めにお問い合わせ致します。

全難聴ロゴマーク募集

一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（全難聴）は、平成25年2月で前身の全国難聴者連絡協議会設立から45周年を迎え、4月からは一般社団法人として活動を行なっています。

全難聴をより効果的にPRし、かつ全難聴に親しみを感じてもらうためのシンボルとなるロゴマークの原案を募集します。

募集期間：平成25年8月1日～10月31日

募集内容：全難聴設立のシンボルとなるロゴマークの原案

応募資格：全難聴構成員及び一般の方

応募基準：

- (1) 自作未発表であること。
- (2) 全難聴が難聴者・中途失聴者福祉の改善を目指す組織であることを印象づけるものであること。
- (3) 15cm四方に収まる大きさであること。
- (4) カラー・モノクロどちらでも使用可能なもの。
- (5) 複数作品の応募可。

応募方法及び用紙等：HPを御覧ください。

審査：全難聴常務理事会で第1次選考審査を行い、それをもとに理事会にて最終審査を行い、最優秀作品1点、優秀作品3点を選びます。

結果発表：郵送にて選考結果通知を本人あてに送付すると共に、最優秀作品、優秀作品及び佳作については、全難聴のホームページ及び機関誌にて公表します。

賞品：最優秀作品者には、平成26年1月26日（日）に行う全難聴福祉大会 in おきなわ大会式典にて表彰を行います。記念式典の詳細については、入賞者あてに別途お知らせいたします。

- (1) 最優秀作品1点 10万円
 - (2) 優秀作品3点 1万円
 - (3) 佳作10点 全難聴機関誌購読1年分
- その他、詳細はHPを御覧ください。